

立位、立位での側方への体重移動の評価に基づくハンドリング実技

関西医科大学くずは病院 リハビリテーションセンター 清水貴史・野口翔平・玉置昌孝
ひかりメディカルグループ 中道哲朗

歩行や階段昇降の遂行にあたって立位姿勢が保持できることは絶対的条件になると考えられます。さらに歩行や階段昇降に限らず我々の日常生活場面では、「横の物を取る」や「振り向く」など立位姿勢における作業は多岐にわたります。そのような作業場面において、立位での一側下肢へ体重移動（以下、立位での側方移動）を行う機会があり、我々、理学療法士の臨床場面においても、立位姿勢のハンドリングや立位での側方移動練習を実施することがあります。

立位での側方移動について先行研究では、移動側中殿筋や内腹斜筋の横方向線維による骨盤非移動側下制の制動作用や非移動側腰背筋による胸腰部非移動側側屈作用の重要性が報告されております。しかし、臨床場面において体幹筋や股関節周囲筋に問題を認めない場合においても、足部周囲筋の筋力低下や筋緊張低下を生じている症例においては、立位での側方移動が困難となることや移動側足底内側が離地することでふらつきを生じてしまうことなどを経験すると思えます。

立位での側方移動が円滑に遂行できなくなる要因について、我々は足部周囲筋の筋活動を解剖学的・運動学的に検討しております。体幹筋や股関節周囲筋の先行研究結果に加え、足部周囲筋の筋活動について理解することで、臨床場面において適切な評価・ハンドリングの実施につながると考えております。

そこで、今回のナイトセミナーでは以下の内容をお伝えしたいと考えております。

- 1) 立位での側方移動における姿勢変化と筋活動について、先行研究の報告も交えながら、実技の中で解説させていただきます。
- 2) 健常者同士で立位姿勢・立位での側方移動を解剖学的・運動学的観点で分析したうえで、ハンドリングを実践していきたいと思えます。

皆さんの臨床に役立つセミナーとなりますよう、一同努めさせていただきます。
当日はよろしくお願ひ致します。